

特別番組

東京藝大で教わる 西洋美術の見かた

2022年1月3日・4日 2夜連続放送

この度、日本BS放送株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 COO:近藤 和行、以下「BS11」)では、2022年1月3日(月)・4日(火)より9時より、特別番組「東京藝大で教わる西洋美術の見かた」を、2夜連続で放送いたします。

本番組は、株式会社世界文化社より刊行されている『東京藝大で教わる西洋美術の見かた』(著者:佐藤直樹)のテレビ番組化となります。

【放送情報】

12月7日(火)BS11スタジオ(御茶ノ水)での収録後に取材が可能です。
ぜひお問い合わせください。

■タイトル:東京藝大で教わる西洋美術の見かた

■放送日時:

【第1夜】ダ・ヴィンチを学んだ「加工の天才」、ルネサンスの巨人ラファエッロ
1月3日(月)より9時00分～9時54分

【第2夜】「複製版画」でヨーロッパに伝播 ルネサンスの巨人ラファエッロ
1月4日(火)より9時00分～9時54分

■出演者:

佐藤直樹 <東京藝術大学准教授> (写真左)
松尾貴史 (写真中央)
篠原ともえ (写真右)



■番組内容:

ベストセラー『東京藝大で教わる西洋美術の見かた』の著者、佐藤直樹・東京藝術大学准教授を迎えお送りする新春2夜連続特別番組! 「バランスよく作品を知るより、個々の作品に対する具体的なアプローチを学んだ方が、実は美術鑑賞のコツを得るには手っ取り早い」という佐藤准教授。藝大の授業そのままに、初心者には「美術鑑賞のコツ」を分かりやすく、美術ファンには「そうだったのか!」と膝を打つ解説を、ルネサンスの巨人ラファエッロをテーマにお届けします。ダ・ヴィンチやミケランジェロを手本に自分の世界を作り上げていった技術、版画を使ってヨーロッパに自作を流布させた戦略、アルプスを越えたドイツの画家との交流…などなど! 東京藝術大学の全面協力のもと、作品に取り組む藝大生の様子や様々な施設の紹介も!

【第1夜】ラファエッロが、ダ・ヴィンチやミケランジェロを手本とし、それを凌駕していった軌跡を辿りつつ、美術における「模倣」についても考えていきます。また、東京藝大の様々な施設や、「フレスコ画」を製作する藝大生なども紹介します!

【第2夜】ラファエッロの、“贋作版画家”との交流や“複製版画”を使って自作をヨーロッパに流布させていった戦略を見ていきます。さらにその裏にあった、アルプスを越えたドイツの天才画家との交流とは? また、東京藝術大学大学美術館や、町田市立国際版画美術館の展示作品なども紹介します!